

# Mランドニュース Vol.114

## 丹波ささ山校 平成28年9月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の学び》

「人に喜ばれる生き方が、

自分を成長させる」

日本を美しくする会 関西ブロック大会  
田中義人氏 講演の中でのおことば

### デカンショの熱い夏

今年も篠山の人々が心待ちにしている、デカンショ祭りの日がやってきました。

昨年、「デカンショ節」が日本遺産に認定されたこともあり、各自治会の装飾も次第に趣向が凝らされるようになり、日ごとにお祭りムードも高まります。

今回でお祭り参加九回目の「Mランド連」ですが、もちろんゲストの皆さんは初参加。全国に数多の盆踊りがあるように、デカンショ祭りも踊って楽しんでいただきたいお祭りなのです。

そこで祭りを更に楽しむために、前日の十四日に「デカンショ踊り保存会」の梶谷郁雄様に今年も踊りを教えていただきました。



熱気あふれる梶谷先生のご指導

ロビーには教習を終えた二十五名のゲストが集まり、梶谷様のご指導のもと、練習会が始まりました。

ご指導いただくのが八回目、梶谷様ならではの楽しく、和やかな練習会は毎年ゲストにとつて思い出深いものになっています。

当日の天候は幾分曇行きも心配されましたが、今年はこちらまでで最多の約六十名もの参加をいただき、会場に向け出発です。

途中、提灯で飾られた国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている、夕暮れの河原町妻入商家群を歩きます。



情緒ある商店街を浴衣姿で

その通りを浴衣姿の三十名の女性ゲストの「カラン、コロン」という下駄の音が、軒先の風鈴の音と相俟って情緒をさらに演出していました。

ようやく着いた会場は、多くの見物客と、踊りを待ついくつもの「連」でひしめき合っていました。

時間となり日本最大級の木造やぐらから、お囃子とともに「デカンショ節」が始まりました。デカンショ祭りに参加される「連」の多くは、手慣れた地元の方々で、この時を待ちかねたように踊りを楽しんでおられます。

これに負けじと私たちも踊りの輪に加わり、踊りを知らないゲストも見よう見まねでついてこられる中、「Mランド連」もステージへと踊りを進めていきました。



篠山での思い出の一夜になりました

現代のIT社会に生きる若者に、日本の伝統文化にふれていただいたことは、ゲストにとって貴重な経験になったのではないのでしょうか。東は愛知、北陸石川、南

は熊本からお越しいただいた「Mランド連」。二度と同じ顔ぶれで踊ることのない「デカンショ祭」を、一期一会の気持ちで楽しませていただきました。

営業チーム 近藤正幸

### 切磋琢磨

八月三十日、私たちが取り組む「そうじのCapプロジェクト」六名のリーダー研修を、小早祥一郎先生のご指導で行いました。

この繁忙期、八時三十分の教習開始に伴い、各業務の準備後、それぞれ毎朝十分間の掃除に勤しんでいます。



磨かれたタイルに朝日が光ります

地道にタイルを磨き上げることに關して、コツコツ取り組んできました。磨くことも大変ですが、輝きを維持していく大変さも知らされた月でもありました。

続けることの大切さの反面、単に同じことの繰り返しにならないように、社員間の創意工夫も必要になります。

### 今月のありがとうカード

トイレ掃除に学ぶ会 様

今日は朝からトイレ掃除お世話になりました。初めて素手でトイレを掃除して、最初は驚きましたが、意味や理由を聞いて納得できたり、考えさせられることがありました。いろんな勉強になり、参加して良かったです。ありがとうございました。 森下 果菜 様

### 『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

9/11 (日) 八上小学校 東トイレ (AM7:00~8:00)

9/18 (日) 篠山中学校 運動場トイレ (AM7:00~8:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

## 美しくする

八月二十日、二十一日とNPO法人 日本を美しくする会 第七回関西ブロック大会が奈良市で開催され、昨年の彦根大会に引き続き参加させていただきました。初日は奈良県警勤務の「なかよしの掃除に学ぶ会」羽根康英様が、奈良県各地で活動されている、「掃除に学ぶ会」の活動報告をされました。



活動報告された羽根様

ご自身の参加のきっかけは、広島市の「掃除に学ぶ会」の呼びかけで、暴走族と一緒にトイレ掃除をしたというお話が聞かれていたことでした。それに関心を持たれ、自ら地元「トイレ掃除に学ぶ会」に参加し、その感動を身を持って体験されたことにより、以来公私ともに掃除を

通して青少年の健全育成をはじめ、赴任先の地域で「掃除に学ぶ会」を立ち上げられるなど、掃除がもつ「感動」と感謝が人を育てる力」を信じ日々活動されています。また、災害や震災の支援を通して、尊い人との関わりや絆の体験を映像を交えてお話されました。



日本を美しくする会 田中会長

はじめて二十四年前、ご自身が経営する会社が行き詰る中、鍵山秀三郎氏と出会われ、「掃除を通じて世の中からの心の荒みをなくしたい」の言葉に衝撃を受け、掃除をベースにした会社改革をし、経営を立ち直らせたことをはじめ、掃除の素晴らしさが国内から今や海外にも認められるようになったことをご紹介いただきました。

掃除はすべてのベースであり、掃除がもたらすよい影響について、実例をもとに分かり易くお話しされました。

その中で、あるスーパーの店長のお話しをされました。「いろんな会社が商品の営業に来られるが、どんな商品かはその会社の車の運転席を見れば分かる」と。

あわせて私たちMランド人は高齢者や身体の不自由な人などのため、公共の駐車場の場では、出入り口から遠いところに、車を停めることも忘れてはなりません。

二日目は、奈良市立三笠中学校で掃除実習が行なわれました。

「奈良掃除に学ぶ会」が年次大会などで会場として掃除されている当校のトイレは予想以上にきれいでしたが、参加者の「さらに美しく」の気持ちで百三十一名の方が、額に汗しながら便器を磨かれました。

閉会式では、多くの中学生の感想発表の中、

○見えない所がきれいになる気持ちよさが分かった。

○何で掃除をするのか疑問でしたが、やってみて意味が

分かった。

○道具の受け渡しを丁寧にすることの大切さ。

○感謝のところに気付いた。など、達成感にあふれた表情でお話しされたのが印象的でした。



班ごとの感想発表の様子

閉会式のあと、当校の素晴らしい吹奏楽部の演奏を全員で拝聴しました。来年度は十一月十一日と十二日の二日間、会場は篠山市。皆さまのお越しをお待ちしております。



最後は全員で「ハイ、チーズ！」

## フェスタへの想い

第十一回Mランドフェスタ二〇一六の開催が、十一月十三日(日)に決定いたしました。

平成十八年に産声を上げましたMランドフェスタ「篠山の街を一〇〇〇人で大そうじ」は、皆さまのおかげをもちまして、今年で十一回目の開催を迎えることができます。今年のフェスタは「今、篠山から未来へつなぐ笑顔の力」をテーマに、一〇〇〇人で大そうじを開催させていただきます。

古来、そうじによって、そこに充滿している「悪い気」が除かれ、「良い気」が満たされるといわれます。昨今、世界では不安や不満から、未来の見えない者によるテロや残酷な出来事の後を絶ちません。国内においても、思わず目を塞ぎたくなるような事件や事故が連日のように起きています。

また、四月十四日に発生した熊本地震では、六十四名もの尊い命が失われています。

私たちは、そうじをすることにより、「良い気」を散らせ、より一層社会が明るくなり、争いごともなく、周りが穏やかなになると願っています。

そんな現代の状況に、「今こそ私たちMランドの原点、育ての親である篠山から明るい未来を創造し、笑顔で満ちあふれる世界へとつなげていく。そんな強い想いでMランドフェスタを開催するために結束を高め、目標達成に向けて情熱を傾ける決意でございます。

皆さまのご参加、ご協力を心よりお待ちしております。フェスタ事務局長 前川昂希

## 編集後記

弊社トイレでお出会ったご年配の男性に、「こんにちわー!」とあいさつ。

…ご返事がありません。あとで私のあいさつが伝わっていたかどうかと思ひ反省。

「あいさつ」の教習所なのに。次回、お目にかかれれば

伝わり度一〇〇パーセントの「あいさつ」をします! (徹)